

「なぜ、英語を学ぶのか？」に 一生モノの答えを。

『自衛隊×音楽交流×多言語』

異色のキャリアをもつ講師が、生徒の視野を広げる



大学・高校
講演実績多数

出張対応

会場へ伺います

夜間OK

放課後も対応

山梨県へお越しの
他県学生歓迎

山梨県内の**学校・合宿所**で**無料講演**を承ります。

自衛官として外務省に出向する「防衛駐在官」という特殊なキャリアや、外国での音楽交流など、英語とドイツ語で国際交流を切り拓いてきた講師が、自身の経験を楽しくお話しします。



講師 **桑原 和洋**（くわはら かずひろ） 陸上自衛隊 1等陸佐

1974年神奈川県生まれ。1993年に私立サレジオ学院高校、1997年に防衛大学校を卒業。
陸上自衛隊入隊後、東ティモールPKO・ドイツ留学・ドイツ防衛駐在官勤務・ジブチ共和国での海賊対処行動支援隊指揮官などを歴任。現在は、自衛隊山梨地方協力本部長。

単なる受験勉強用だった英語が「世界と自分をつなぐ強力な道具」へと変わった物語をお伝えすることで、**英語を学ぶ「目的」が明確になり、外国語学習に対するモチベーションを底上げ**します！

お問い合わせ・講演依頼はこちら

TEL : **055-253-1591** E-MAIL : hq1-yamanashi@pco.mod.go.jp

< 自衛隊山梨地方協力本部 山梨県甲府市丸の内 1-1-18 甲府合同庁舎 2階 >

山梨県内の学校・合宿所 講演プログラム詳細

この講演がもたらす「学び」

英語学習へのモチベーションがアップ

受験勉強用になりがちな英語が「世界と自分をつなぐための強力な道具」だと気づく体験を提供します。
仕事や音楽交流で**世界の人と本音で語り合った経験が**、
生徒の英語を学ぶ目的意識を底上げします。

日常生活にはないキャリアとの出会い

自衛官として外務省に出向する「防衛駐在官」という
仕事での、日独音楽隊やプロサッカー選手との交流など、
非日常のキャリアを実体験をもって語ることで、
生徒たちの「知的好奇心」を刺激します。

A I 翻訳では伝えられない「心を動かす会話」の価値を体感

A I 翻訳が普及する今だからこそ、自分の頭で考え、言葉を紡ぐ経験が不可欠です。情報をただ伝えるだけではなく、
「誤解のない丁寧さ」や「相手の心を動かす感情」を込めた、生きたコミュニケーションの本質を伝えます。

おすすめの活用シーン・主な内容

□ 英語の導入授業をしたい方

→東ティモールでの国連平和維持活動（PKO）

□ グローバルなキャリア教育として活用したい方

→ドイツ防衛駐在官として、日独音楽隊とのフラッシュモブなどを企画
→海賊対処行動中に、自衛隊音楽隊をジブチ共和国に招致



ニュージーランド軍将校と調整



日独音楽隊交流での百年史フラッシュモブ

講師プロフィール詳細



桑原 和洋（くわはら かずひろ） 陸上自衛官（1等陸佐）

1974年 神奈川県鎌倉市生まれ、 1993年 私立サレジオ学院高校卒業
1997年 防衛大学校卒業、 2002年 東ティモール国連PKO（スアイ）
2010-12年 ドイツ留学、ドイツ連邦軍指揮幕僚大学卒業（ハンブルク）
2014年 防衛大学校 総合安全保障研究科（修士課程）卒業
2015-18年 在ドイツ日本国大使館防衛駐在官（ベルリン）
2021-22年 派遣海賊対処行動支援隊司令（ジブチ）

趣味はギターと写真撮影で、やまなし大使の顔も持つ。



活動の様子が「ひと目で解る」YouTube動画はこちら↓↓

今すぐ
チェック



日独音楽隊交流において、桑原防衛駐在官（当時）が音楽隊員をドイツ語で、サプライズ入りで紹介し、ドイツ人聴衆との一体感を生んだ場面の動画です。



ドイツ軍俘虜による『第九』日本初演から百年記念日に行われた、日独音楽隊によるベルリン・ブランデンブルク門での『第九』フラッシュモブ。